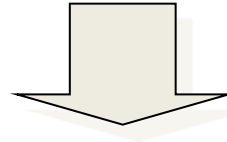


学習のユニバーサルデザイン

チェックリストは
3原則に対応しています

多様性への対応:UDL



- Universal Design for Learning(UDL)
 - 障害のある子どもを含む、全ての子どもがわかりやすく、参加できる学び(授業)

多様な学習者を対象に、学習環境のバリアを減らすこと
多様な教育方法(提示・意思表示・参加)の使用を認めること
教科中心のカリキュラムで教えること

高等教育機会均等法(2008)

学びの過程とUDL

原則1

- 課題理解と提示の工夫

原則2

- 考えの表現と課題解決

原則3

- 学びの自己管理と次の学びへの意欲

Vygotsky(1979)に基づく

導入

授業のゴールを示す

自己評価を取り入れた授業モデル

- 学習活動の明確化
- 学習内容の明確化

自己評価チェックリスト

UDL 3原則

1. 課題理解と提示の工夫
2. 考えの表現と課題解決
3. 学びの自己管理と次の学びへの意欲

- 学習活動の自己評価
- 学習内容の自己評価

自己評価チェックリスト

机間巡視
ノート点検
小テスト

展開

終結

手続き

1. 導入
 - 本時の学習内容と学習活動を提示
 - 自己評価表を配付
2. 展開
 - 3原則を取り入れた授業
 - ルールに従っていること、内容理解等を適宜評価
3. 終結
 - 自己評価(児童生徒)
 - 教師による評価、記録
4. オプション
 - 小テスト、補助資料、補助課題

机間巡視
ノート点検
小テスト

必要に応じて追加する

がくしゅうのめあてカード

自己評価チェックリストの例

- わたしがすること

1. ノートにかく

2. けいさんする

せんせいのてんけん

- おぼえること

1. $3+5$ のけいさん

2. ぶんしょうだい

テストの答え